

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和6年度事業分)

施設名 山梨県立育精福祉センター児童寮
 所管課 福祉保健部 障害福祉課
 指定管理者 社会福祉法人山梨県手をつなぐ親の会

1 指定管理者の推移

導入年度	令和2年度				
指定管理者名	出資法人	指定期間			委託料総額 (単位:円)
社会福祉法人 山梨県手をつなぐ親の会		R2.4.1	～	R4.3.31 2年	168,253,319
社会福祉法人 山梨県手をつなぐ親の会		R4.4.1	～	R8.3.31 4年	552,326,086

2 施設の概要

所在地	南アルプス市有野3303-2
設置年月日	昭和47年4月1日
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立育精福祉センター設置及び管理条例
設置目的	知的障害児に必要な指導及び訓練を行い、自立した日常生活や社会参加を図る。
主な業務の内容	(1)施設等の維持保全に関する業務 ・施設及び設備器具の維持保全に関する業務を行う。 (2)利用者に対する障害福祉サービス業務 ・措置入所、障害児入所、経過的生活介護、短期入所及び経過施設入所支援に係る業務を行う。
主な施設内容 (定員等)	○敷地面積:79,970㎡(成人寮を含む) ○建築延面積:8132.19㎡ ○建物の構造:鉄筋コンクリート造平屋建、鉄骨造 ○施設の内容 ・児童一寮棟(鉄筋コンクリート造平屋建) 937.37㎡ ・児童二寮棟(鉄筋コンクリート造平屋建) 1051.26㎡ ・管理棟(鉄筋コンクリート造平屋建) 1097.04㎡ ・エネルギー棟(鉄筋コンクリート造平屋建) 409.95㎡ ・ホール棟(鉄筋コンクリート造平屋建) 548.48㎡ ・作業棟(鉄筋コンクリート造平屋建) 479.32㎡ ・作業訓練棟(鉄筋造平屋建) 244.80㎡ ・旧居住寮(鉄筋コンクリート造平屋建) 886.23㎡ ・旧精神薄弱者重度更生施設(鉄筋コンクリート造平屋建) 981.16㎡ ・車庫の一部(鉄筋平屋建) 125.66㎡ ・その他(渡り廊下等) 1054.67㎡ ○各障害福祉サービス定員 ・入所者:70人 ・短期入所:10人
備考 (改築工事等の状況、 一括管理施設等)	

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和6年度事業分)

3 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

年度 項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考
収入合計	226,376,658	242,990,715	263,419,433	280,950,912	260,849,520	
支出合計	212,563,533	222,163,366	237,265,791	249,415,484	249,135,845	
収支差額	13,813,125	20,827,349	26,153,642	31,535,428	11,713,675	

4 利用状況、利用者満足度の状況

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考
利 用 実 績	55人	45人	32人	43人	50人	
利 用 者 満 足 度	○	○	○	○	◎	「満足」又は「どちらかといえば満足」の合計 ◎:80%以上 ○:60%以上80%未満 △:60%未満

5 運営目標の達成状況(令和6年度)

令和6年度は4年間の指定管理期間の3年目であり、引き続き、成人寮と児童寮の一体的且つ効率的運営に努めた。

利用者支援について、当施設は県内唯一の知的障害児入所施設として、県内の知的障害児のセーフティネットの役割を担ってきており、虐待を受けたり家庭での療育が困難な障害児が安心して生活できる場になるよう利用者一人ひとりに寄り添い健やかな成長を支援してきた。また、支援学校や卒業後の移行先とも連携を図るなどサービス向上に努めた。

衛生管理について、新型コロナやインフルエンザ等の感染対策や日常の衛生管理を徹底することでクラスター発生は避けることができた。

運営面について、障害児入所の年度末利用者数は32名であり定員に対する利用率は45.7%の利用率だった。利用者の大部分を措置入所が占める施設であり利用率は低調である。一方、短期入所はニーズが高く、利用者18名で延べ961日間利用があった。

施設の維持・保全については、近隣住民に配慮した環境整備や、利用者の生活環境の向上に努めた。また、通所を含め成人児童全4寮の利用者トイレの改修工事を迅速に行い、利用者の利便性向上に努めた。さらに、温冷配膳車、保温食器を購入し、利用者へのサービス向上に努めた。

6 施設所管課による総合的な評価及び指導事項(令和6年度)

令和6年度は、令和4年度から開始した成人寮と児童寮の一体的な管理・運営の3年目となったが、利用者へのサービスの支援の向上に努めた結果、利用者満足度調査結果の施設全般の満足度の「満足・どちらかといえば満足」の割合が92%と、前年度より高い水準となった。

施設の維持・保全については、成人寮同様、積極的に大規模なトイレの改修工事を迅速に行い、利用者の利便性の向上に努めた。また、温冷配膳車等を購入するなど、利用者のサービス向上に努めた。

利用者は、知的障害がありながら虐待を受けた児童や家庭的な療育が困難とされた児童であるが、引き続き入所児童個々の障害状況や家庭状況に配慮し、児童相談所や学校等の関係機関と連携を図り、児童の人権・人格を尊重し、健やかに成長できる環境を整えていただきたい。

また、短期入所等の地域の障害児の利用も促進し、山梨県における障害児福祉のセーフティネットとしての機能の充実に努めていただきたい。

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和6年度事業分)

7 施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況(令和6年度)

施設運営については、成人寮と児童寮との一体的・効率的運営を行うとともに、利用者に満足していただけるサービス提供を心掛けており、新型コロナの5類移行後も感染症対策を継続しながら、利用者の外出や旅行などの行事を実施することができた。

また、成人寮と協働して強度行動障害者支援を強化するための取り組みを行うなど重度障害児の特性に配慮した支援の提供に努めるとともに、卒業後の移行先について、学校や事業所との連携を密に行い、スムーズに移行できるよう支援を行った。

引き続き、児童寮が担ってきた障害児福祉におけるセーフティーネットとしての役割を理解し、職員の資質の向上とサービス向上に努める。

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和6年度事業分)

施設名 山梨県立育精福祉センター児童寮
 所管課 福祉保健部 障害福祉課
 指定管理者 社会福祉法人山梨県手をつなぐ親の会

1 利用状況 (単位:人、%)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数	措置児童	37	33	22	21	23
	福祉型入所	6	8	6	9	9
	経過の児童入所	2	0	0	0	0
	短期入所	10	4	4	13	18
	利用者数合計	55	45	32	43	50
	目標値	80	80	80	80	80
	実績/目標割合	68.8%	56.3%	40.0%	53.8%	62.5%
目標値の設定方法		定員を目標値とする。				
利用率	稼働率等(利用率)	68.8%	56.3%	40.0%	53.8%	62.5%
	稼働率等(利用率)の算定方法	利用者数÷施設の利用定員				

2 類似施設・近隣施設

名称・施設内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・あゆみの家:自立訓練(日中20人、宿泊型20人)、短期入所(2人) ・梨の実寮:生活介護(44人)、就労移行支援(6人)、就労継続支援B型(10人)、施設入所支援(40人)、短期入所(6人) ・あさひワークホーム:生活介護(46人)、就労継続支援B型(34人)、施設入所支援(40人)、短期入所(5人) ・あけぼの医療福祉センター成人寮:生活介護(45人)、自立訓練(機能訓練)(15人)、施設入所支援(40人)、短期入所(15人)
----------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3 補修工事等の状況(令和6年度) (単位:円)

県 育精福祉センター給湯用ボイラー改修他工事	19,910,000
県 育精福祉センター管理療育棟屋上防水改修工事	21,256,400
管 児童1・2寮利用者トイレ補修工事	1,936,000
管 消防設備交換工事、ランドリー設備修理費用、ボイラー設備修理費用など	350,653

修繕等の負担区分(基本協定書): 1件60万円未満の修繕等は指定管理者が実施
 *ただし、上記にかかわらず、県の承認により、指定管理者が修繕等を実施することができる。

4 自動販売機設置状況等(令和6年度) (単位:円)

台数	選定方法	収入割合	収入額	仕入(支出)額

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和6年度事業分)

5 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
収 入	A 収入額計	226,376,658	242,990,715	263,419,433	280,950,912	260,849,520
	施設利用料	155,240,799	145,659,257	113,521,880	123,856,097	130,290,642
	指定管理者委託料	70,997,818	97,255,501	148,444,480	144,505,102	128,560,217
	その他雑収入	138,041	75,957	1,453,073	12,589,713	1,998,661
支 出	B 支出額計	212,563,533	222,163,366	237,265,791	249,415,484	249,135,845
	人件費	140,484,298	154,349,814	165,236,092	176,969,069	177,192,833
	修繕費	1,403,950	1,400,909	636,911	3,186,812	2,286,653
	光熱水費・燃料費	11,694,890	14,568,802	16,020,432	16,814,984	18,810,007
	給食費	29,813,297	25,295,645	19,947,716	19,910,244	21,342,442
	消耗器具備品費	1,673,461	1,260,859	2,479,443	1,761,784	1,394,527
	日用品費	1,244,825	1,215,092	1,400,942	1,797,648	969,051
	手数料	125,421	361,405	107,195	74,008	57,968
	事務消耗品費	1,967,467	1,361,934	4,235,518	1,383,625	1,055,205
	教養娯楽費	2,596,752	521,384	868,701	1,524,635	2,069,084
	教育指導費		2,112,169	1,299,028	1,115,687	1,976,793
	福利厚生費	2,501,141	1,919,765	972,325	376,389	653,912
	車輛費	288,247	247,586	217,151	788,941	818,240
	通信運搬費	570,795	528,117	358,623	298,883	391,299
	介護用品	715,716	647,582	776,681	475,387	582,864
	保健衛生費	655,627	631,980	868,943	589,970	720,618
	保険料	502,743	516,637	549,781	529,311	481,331
	賃借料	2,566,059	2,555,416	2,283,259	2,278,210	2,291,805
	研修研究費	40,208	625	67,346	137,775	169,508
	保守料	558,683	1,236,992	1,103,828	2,784,521	2,328,641
	その他	2,987,321	2,847,924	8,328,530	7,396,657	4,760,011
	外部委託費	10,172,632	8,582,729	9,507,346	9,220,944	8,783,053
	会計委託料	110,000	110,000	132,000	132,000	132,000
	廃棄物委託料	416,793	113,820	254,063	365,890	252,733
	機械設備等	6,506,434	7,327,999	7,149,120	7,149,120	7,149,120
	その他	3,139,405	1,030,910	1,972,163	1,573,934	1,249,200
	外部委託比率	4.8%	3.9%	4.0%	3.7%	3.5%
	県への納付金					
収 支 差 額 (A - B)		13,813,125	20,827,349	26,153,642	31,535,428	11,713,675

一人当たり指定管理者委託料 *	1,290,869.4	2,161,233.4	4,638,890.0	3,360,583.8	2,571,204.3
-----------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------

* 指定管理者委託料÷利用者数(単位:円)

(参考)自主事業に係る収支状況

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
C 収入額計	5,083,075	5,128,810	5,385,438	6,201,482	6,521,681
D 支出額計	7,637,430	6,913,464	8,083,921	8,655,206	9,003,200
収 支 差 額 (C - D)	△ 2,554,355	△ 1,784,654	△ 2,698,483	△ 2,453,724	△ 2,481,519

6 自主事業の実施状況

	事業名	対象者	実施場所
1	地域療育支援事業	障害児	児童寮
2	日中一時支援事業	障害児	児童寮

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和6年度事業分)

7 利用者満足度

実施方法等	実施時期: 令和7年1月2日～令和7年1月10日 対象者: 利用児 実施方法: 対象者へアンケート用紙を配布し回答して頂いた。説明が必要な利用児には、職員が説明しながら実施した。 回答者数: 32人(調査依頼人数: 32人)			
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
施設設備	72.0%			28.0%
施設内外の住環境	85.0%			15.0%
施設内の美化・整理整頓	79.0%	13.0%		8.0%
施設での支援	75.0%	17.0%	4.0%	4.0%
利用児者の気持ちの尊重	100.0%			
支援計画等の説明	96.0%			4.0%
支援計画作成時の家族の聞き取り	100.0%			
相談・要望等の言いやすさ	100.0%			
相談・要望等の対応	100.0%			
職員の挨拶・言葉遣い	100.0%			
施設全般の満足度	71.0%	21.0%	0.0%	8.0%
利用者の主な意見	①ベッドが固い。床が固い。 ②トイレ等こわれてきている。直すまでにかかなりの時間が掛かってしまう。 ③床などが傷みはじめている。おもいドアが多く、指をはさまないか心配。 ④畳の部屋がいい。 ⑤冷暖房の質を上げて欲しい。 ⑥デイルームを広くしてほしい。 ⑦もっと家に帰りたい。 ⑧関わって欲しいタイミングで他児の支援で関わってもらえないことがある。 ⑨おやつをもっと充実させて欲しい。 ⑩思うように対応してくれず、不満に思っ(自分の)頭をたたいてしまうことがあります。			
利用者の意見への対応	①②③④⑤施設の老朽化が進んでいますので修繕で対応できる箇所は順次対応し、利用者の生活環境の改善に努めます。 ⑥デイルームを拡大することは困難ですが、利用者のニーズを汲み取り、寮内や屋外での活動を充実することにより、楽しい寮生活を送ることができるよう努めます。 ⑦家庭状況により帰宅ができない利用者以外については、本人の希望を尊重し家庭と調整を図り帰宅機会を増やせるよう努めます。 ⑧支援以外の業務の効率化を図り、出来るだけ一人ひとりの利用者に向き合える時間を確保できるよう努めます。 ⑨栄養バランスと予算を考慮しつつ、利用者に喜んでもらえるおやつの提供に努めます。 ⑩自傷や他害行為などの行動障害のある利用者については、一人ひとりの特性に応じて丁寧に対応します。			

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和6年度事業分)

8 評価結果

項目	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	老朽化したボイラーの補修工事を県で実施していただいた。法人では各寮の利用者トイレの補修工事を実施するなど利用者の安全及び生活環境の向上を図った。 その他、機械・設備などの法定点検をはじめ、維持管理業務全般については業務仕様書に基づき、きめ細かな業務の遂行に努めた。	法定点検等、施設の維持管理業務が事業計画に基づき適切に実施されているほか、施設や設備の修繕も積極的に実施している。 建物や主な設備は設置から四半世紀が経過し、老朽化しているため、定期点検と合わせて、日常的に異常等の有無を確認し、当課と調整を行いながら、児童の安全確保に努めること。
運営業務	個々の利用者の状況に合わせ、食事や排せつ、入浴などの生活支援やバス旅行などの屋外活動を行うとともに、学校や相談支援事業所、施設等の関係機関との連携を密にし、卒業後の移行に必要な支援を実施した。 職員の欠員については、引き続き法人として人材確保に取り組んで参ります。	事業計画書に基づき、児童の障害特性や家庭状況等に配慮した運営が行われている。今後も家庭や学校、児童相談所等の関係機関との連携を取り、児童一人一人に寄り添った適切な運営に当たること。 職員確保については、様々な機会を活用して創意工夫し、支援体制の維持・向上に当たること。
利用状況	利用者数は、措置児童23名、福祉型入所児童9名、短期入所18名(延べ利用日数961日)、総計50名であった。わかば支援学校高等部の5名が卒業し、地域での生活に入った。 また、児童相談所からの緊急一時保護の受け入れを3件実施するなど、地域における知的障害児のセーフティネットとしての役割を果たしている。	入所児童の大半が措置児童であることから、利用率を大幅に上昇させることはできていない。 また、児童にとっては家庭においての生活が大切であることから、契約児童においても同様である。 短期入所は、昨年度から回復傾向にあり、緊急一時保護の受け入れも3件実施するなど、知的障害児のセーフティネットとしての役割を果たしている。 今後も県内唯一の福祉型障害児入所施設としての役割を果たすこと。
収支状況	相談支援事業所等の関係機関と連携し利用者増に努めているが、利用者の大部分を措置児童が占める施設であることから、稼働率や収入を大幅に増やすのは難しい部分がある。 しかし、そのような状況でも、経費節減に努め、支出を抑え効率的な運営を行った。 今後も委託料を有効に活用し適切な施設運営を行って参りたい。	利用児へのサービスを適正に提供する中で、収入は引き続き増加している。今後もサービスの質を維持するため、必要な支出は行うとともに、契約の方法や内容等を定期的に見直し、効率的な運営を進めていくこと。 また、施設の修繕等は、県と協議しながら計画的に実施していくこと。
自主事業	市町村委託事業の日中一時支援事業と山梨県委託事業の地域療育等支援事業を実施した。日中一時支援事業では8名を受け入れ、保護者のレスパイト支援など地域のニーズに対応している。地域療育等支援事業では、療育相談や通院同行、保育園訪問や研修会等を実施し、地域の障害児への支援を実施した。	新型コロナウイルス感染症への対応も行いながら、概ね適正に実施されている。 今後も県下唯一の障害児入所施設としての役割を果たし、その機能を地域の障害児にも活用していただくために、日中一時事業や地域療育事業の取り組みに期待する。
利用者満足度	施設全般の満足度は、「満足・どちらかといえば満足」の割合は92%であった。 要望にはできるだけ応えるよう、利用児の気持ちに寄り添った支援を心掛けた。	前年度と比較すると「満足・どちらかといえば満足」の割合は上がっている。 今後も、児童からの要望に傾聴し、気持ちに応えるよう、満足度の低い項目の原因を分析し、改善を図るよう努めること。

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和6年度事業分)

9 施設所管課による定期評価結果

施策推進 業務の内容	評価	改善内容
施設利用者の 満足度の 向上	<p>利用児満足度調査結果の「施設全体の満足度」の「満足・どちらかといえば満足」の割合(前年度との比較)を評価指標とし、目標値を80%と設定。</p> <p>結果、「満足・どちらかといえば満足」の割合は、92%で目標を達成した。</p>	<p>利用児は障害の特性から満足度への理解が難しい面はあるが、満足度調査の結果、目標を達成した。</p> <p>今後も結果の分析や、職員による検討会を行う等し、引き続き利用者の要望に可能な限り対応するとともに、満足度の低い項目については、原因の分析を行い、改善を図ること。</p>
感染症対策	<p>本施設は入所施設であることから、施設内に感染が拡大すると、利用児の健康や施設の運営等に甚大な影響が生じる恐れがあるため、職員や利用児の感染予防対策に留意することを県から要請した。</p> <p>また、施設内で感染者が発生しないことを最善と想定し、目標とした。</p> <p>結果、コロナの感染者は少数いたが、重症化せず、クラスターも発生しなかった。</p> <p>また、定期目標値設定時期には感染者はいなかった。</p>	<p>利用児は、日中は通学しているため、各種の感染症に少人数で感染することはあったが、発生後の対応を迅速に行ったため、児童寮の運営に支障をきたす事態には至らなかった。</p> <p>引き続き感染症対策を実施していただくとともに、感染者が発生した場合の対応内容について、確認しておくこと。</p>

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和6年度事業分)

10 管理体制(組織図)

令和6年4月1日現在

